



Title	諸外国における社会保障改革：福祉レジームの新しいかたち
Citation	年報 公共政策学, 7, 65-70
Issue Date	2013-05-17
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/53332
Type	bulletin (other)
Note	シンポジウムⅠ：諸外国における社会保障改革：福祉レジームの新しいかたち：パネルディスカッション コメント
File Information	APPS7_004_4.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学公共政策大学院
シンポジウム

諸外国における社会保障改革 —福祉レジームの新しいかたち—

コメント

早稲田大学 土田 武史

(2012. 11. 17)

コメントの視点

▼社会保障の機能強化

就労の多様化、就労を通じての生活保障システムの変容に対応した社会保障の機能強化をどのように行っているか

▼社会保障の財源確保

社会保障の機能強化に対応するための財源をいかにして確保しているか、またそれに伴い社会保障の担い手はどのように変化しているか

就労面での生活保障策

▼就労要求

ドイツ:ハルツ改革

ハルツIV:失業扶助と公的扶助の統合(失業手当Ⅱ)

労働能力のある長期失業者には失業手当Ⅱ

→失業手当の引き下げと就業者への生活保障

▼職業訓練

スウェーデン:フレキシキュリティ

解雇の柔軟化と失業者の職業訓練・生活保障

※ イギリスはドイツに近く、フランスはスウェーデンに近い

財源確保策の変化(1)

▼かつての社会保障の類型

・ドイツ・フランス

能力主義、選別主義

社会保険方式、保険者の当事者自治

・イギリス・スウェーデン

平等主義、普遍主義

税方式、中央政府(地方政府)による管理運営

財源確保策の変化(2)

＜変化1＞ドイツ・フランスにおける社会保険への税の導入

ドイツ：医療保険における国庫補助の投入
母性保護など社会保険になじまない給付
年金保険における国庫補助の増額

フランス：一般社会拠出金(CSG)の導入
付加率の引き上げ
対象範囲の拡大

財源確保策の変化(3)

＜変化2＞スウェーデンにおける社会保険方式の導入

年金制度：所得比例年金の導入
(+最低保障年金)

財源確保策の変化(4)

＜変化4＞ 税方式における変化

- ・イギリス:クレジット方式の導入

個別のタックスクレジット制度

→ユニバーサルクレジット制度へ

- ・スウェーデン:就労インセンティブ強化のための
税方式の改定

就労促進税制(勤労所得減税)

失業保険料の引き上げ・税控除からの除外

社会保障の担い手における変化

- ▼運営主体の多様化と役割分担の明確化

中央政府と地方政府

社会保険と民間保険

- ▼地域社会の役割の強化

イギリスのNHS改革

- ▼企業／市場の機能の利用

社会的企業

- ▼自己責任の強化

社会保障改革の方向(1)

- ▼年金のウエイトの低下
 - ・公的年金の上限設定
 - ・私的年金による上積み機能の強化
- ▼医療における給付の維持
 - ・慢性期疾患への対応
 - ・医療技術の進展への対応
 - ・財政における税方式の拡大
 - ・介護との連携

社会保障改革の方向(2)

- ▼子ども・若齢者への対応の強化
 - ・子育て支援の強化
 - 経済的支援、施設の充実化
 - ・若齢者の雇用対策
 - 就労支援と職業訓練
 - ・民間委託の拡大
- ▼ジェンダー平等化政策の推進

社会保障改革の方向(3)

▼最低生活保障の強化

- ・背景として、貧困・社会的排除の拡大
- ・保障の平等化・普遍化の強化
- ・「貧困の罨」への対応強化
- ・4か国ではワークフェア的対応策が主体となっているが、その内容は異なる